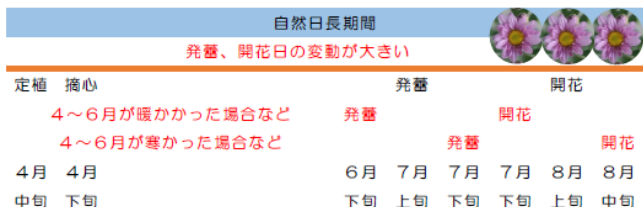


小ギクがお盆にピッタリ咲く マニュアルを作成しました

旧盆出荷用電照栽培のイメージ

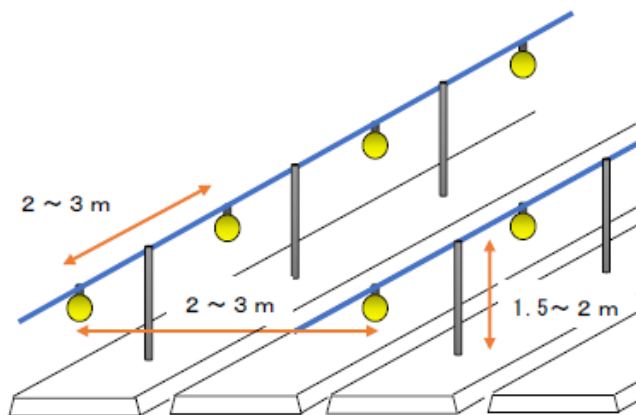


これまでの栽培のイメージ



内容の一部

電球の配置例



内容の一部

開発のねらい

小ギクの開花時期は気象の影響を受けて変わるため、需要の高い旧盆前に咲かせるには経験と運が必要でした。そこで、誰でも旧盆前にピッタリ小ギクを咲かすことができるマニュアルを作成しました。

新技術の概要

- 品種は「精こまき、精ちぐさ、すばる、はるか」を 사용합니다。
- 親株養成時、挿し芽時及び定植~6月上中旬に電照を行います。電照には、75W型電照用白熱電球を用い、1.5~2mの高さに、2~3mごとに1灯設置します。親株養成時及び挿し芽時は深夜6時間(22時点灯、4時消灯)、定植後は深夜4時間(22時点灯、2時消灯)の電照を行います。
- 最初の蕾が確認できる頃に必要に応じて開花期を微調整します(開花が早まると予想される場合には再び電照、開花が遅れると予想される場合にはホルモン剤(ジベレリン)を散布)。

活用場面

生産農家が本マニュアルを用いて栽培することで、需要の高い旧盆前に良質な岡山県産小ギクを安定供給できます。